



たかの  
**高野たけし**

**無所属 49歳**

逗子市議会議員（5期）

・教育民生常任委員会  
・議会運営委員会

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

11月25日～12月9日の日程で令和3年第4回定例会が開催されました。市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえて行った一般質問の一部をご報告いたします。

### ■市民の利便性向上と事務作業の軽減化

近年、粗大ごみの回収手続きにLINEを活用する自治体が増えてきています。LINEを活用することで時間や曜日に縛られることなく申し込みができること、また電子決済を活用するため証紙を購入しに行くという手間が省けることなどが利用者側のメリットとなっています。他方、行政側においても電話口での対応がなくなるなど、事務作業が軽減する効果があることから、粗大ごみ回収手続きにLINEを導入する動きが進んでいると考えられます。現在は電話申し込みのみとなっている本市においても市民サービスの向上、事務の軽減化を目的に活用を検討すべき旨提案したところ、市長からは今後のデジタル化推進の一つとして検討していきたいとの回答がありました。

すでに導入している自治体の中には粗大ごみの回収手続き意外にも、ごみの分別や収集に関する情報を「AIチャットボット」を使い自動応答できるようにするなど、活用の幅を広げているところも見受けられます。本市においても市民にとって使いやすく利便性の高いカタチが構築されることを期待しています。



政治資金の残り **73,185 円**

（令和3年10月～11月の内訳）

支出…両面テープ・結束バンド 2,056円

### ■安全で快適な駅前空間へ

JR逗子駅前（東口）における民間商業ビルの新築及び建て替え計画に伴い、公民連携のプロジェクトがスタートしました。このプロジェクトでは、ゆとりある歩行空間の確保、憩いが生まれる広場の設置、渋滞緩和に向けた歩車分離方式の導入などをテーマに協議が進められていますが、駅前から延びるなぎさ通りの歩道の拡幅、電線類地中化についてもこのタイミングで検討すべき旨提言したところ、物理的な課題もあり今すぐにはいかなないが、都市計画道路として計画のある拡幅がなされる際には電線類地中化も合わせて検討していきたいとの回答が市長よりありました。

### ■誰もが読みやすいフォントの活用を

ユニバーサルデザインをコンセプトに作られたUDフォントは、目の不自由な方や高齢者をはじめ、より多くの人を読みやすく誤読されにくいような工夫が施されています。本市でも広報ずしや介護保険冊子などには使用されていますが、様々な人たちが利用する市役所においても庁内に掲示する案内表示など、広くこのUDフォント（またそれに類する字体）を使用していくことを提案した結果、庁内掲示物や配布物への活用を進めていくとの見解が市長より示されました。

また、わかりやすい授業づくりの観点から公立学校での使用も求めたところ、授業やテストなどでの積極的な活用を学校現場に要請していきたい旨の答弁が教育長よりあったところです。

# ～ Topics ～

逗子市出身でアメリカ在住の方から受けた10億円の寄付金を原資に財団法人を設立し、国内外を問わずリーダーとして活躍したいという高い志を持ち、かつ経済的理由により就学困難な逗子市在住者への給付型奨学金制度を創設することに。諸条件をクリアし選考された者(毎年5名程度の枠を想定)には年額72万円が給付される予定となっています。

現在、来春からの大学進学希望者に間に合うよう準備が進められているところです。



新型コロナワクチンの接種を希望する市民で2回目の接種を終えた方は83.68%(11月末現在)とかなり進んだことを踏まえ、1・2回目の集団接種は終了し、今後は市内の診療所で行う個別接種のみになります。(満12歳になった翌月に接種券が新たに配布される市民の方も同様。)今後2回目の接種から8ヶ月を過ぎた市民から順次3回目の接種券が配布されますが、こちらは集団・個別の両方で実施予定です。



アーデンヒル(沼間3丁目)で実証実験が始まったデマンド型(予約制)の乗合タクシー。地区内にある4ヶ所の乗降場所と最寄りの東逗子駅を結びます。開始からの約1ヶ月で50人強の方が利用されたとのことで、主に買い物や通院に活用されているようです。

高齢化率の高い本市の現状を考えると、実験の結果次第では公共交通の通っていない他の地域への拡大も検討に値すると思っています。



## どーなってるの？

■中学校給食の方式が来年度変更になるとの話も聞こえてきますが、どのようになるのでしょうか？

現行のボックスランチ方式は平成26年10月から始まり、現在7年目を迎えています。この間、生徒や保護者からは「常に温かい給食を食べたい」、「アレルギー対応をしてほしい」などの意見が寄せられてきた経緯があり、改善に向けて検討してきた結果、食缶方式への移行が進められることになりました。事業者との協議、保護者への説明、学校現場との調整などを行いながら来年9月からの導入を見込んでいます。

今回の変更で、生徒たちの笑顔と食育の向上が図られることを期待しています。

### 中学校給食の喫食率の推移

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
80.46%	72.10%	71.78%	68.11%	69.18%	66.40%	66.86%

※上記グラフは市内3中学校全体の数値になります。ボックスランチ方式を採用している他の自治体と比べると高い数値ではありますが、導入当初と比べ減少傾向にあるのがわかります。また、学年毎の詳細なデータを見ると、上級生になるほど喫食率が下がる傾向も見られます。

## あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368  
E-mail: takano\_zushi@yahoo.co.jp